

の教育力の向上に努めます。  
小、中学校教育については、全国学力学習状況調査、全国体力運動能力運動習慣等調査の結果をもとに学力・体力の向上に努めるとともに、新学習指導要領の着実な実施の中、ICT機器を活用した教育活動の質を向上させます。

みを活かし、オンラインによる朝の会や健康観察を行ったり、同時双方向型のWEB会議システムを活用し授業を行ったりするなど、誰一人取り残さず「いつでも」「どこでも」学習できる「学びの保障」を、より一層充実させます。

ICTについては、国のGIGAスクール構想に基づき整備が完了し、今後は電子黒板や実物投影機、教師用デジタル教科書を整備し、「わかる・できる」が

また、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行う学習指導の充実を図るために、習熟度別学習やチーム・ティーチングなどに取組みやすい教育環境の整備に努めます。

実感できるような魅力ある授業づくりを助長するとともに、デジタル教科書時代に対応できる教師のスキル向上を目指した研修活動を充実させます。

特別支援教育については、引き続き、支援員を小・中学校それぞれに配置するとともに、巡回指導員や専門機関・町の関係部署との連携を図りながら、子ども一人ひとりの特性や教育的ニーズに応じた、きめ細やかな支援の充実を図ります。

さらに、新型コロナウイルス感染症などの影響で、やむを得ず学校に登校できない児童生徒へのICTを活用した学習指導などについては、1人2台端末の強

「個別の教育支援計画」を活用し、切れ目のない一貫

した支援を町全体でサポートする体制の充実に努めます。

小学校の外国語教育の充実については、ALTをより効果的に活用するとともに、現在行われている中学校の英語教諭による乗り入れ授業の継続のために、少人数加配事業などの積極的な活用を図ります。

情報教育の推進については、タブレット端末の活用を通して、望ましい情報活用能力や情報モラルの育成に努めます。また、小・中学校にICT支援員を派遣し、教育の情報化を推進するとともに、ICT関連業務の分担によつて教員の負担を減らし、教員が授業に専念できる環境を整えます。

さらに、令和3年度に開設したプログラミング講座や外部講師によるプログラミング学習などを充実発展させます。

キャリア教育については、

令和3年度に作成したキャリアパスポートを有効活用し、小中9年間の一貫したキャリア教育を推進します。

また、職場体験学習や社会人講話（ソクラテスミーティング）に必要な環境整備や人材派遣に努めます。

道徳教育については、新型コロナウイルス感染症による差別、偏見をはじめ、SNSによる誹謗中傷などがなくなるように、特に家庭教育への働きかけに努めます。また、人権擁護委員との連携による人権教育の充実を継続させます。

ふるさと教育については、地域の人材や教材を活用した活動を推進するとともに、ふるさとに誇りと愛着を持つ子どもへの育成に努めます。また、小学校の社会科副読本の改訂作業を進め、郷土理解がより深まるように努めるとともに、デジタル化に向けた検討を行います。防災教育や学校安全につ

**子どもが安心して学べる  
教育環境整備の推進**

いては、ハザードマップの改訂に合わせた避難訓練や新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対策を講ずるなど、状況に応じた危機管理マニュアルの整備と適切な対応の備えをします。また、小・中学校における一日防災学校では、火山専門家や関係機関との連携による特別授業などを通じて、自助、共助、公助を基本とした地域防災力の向上につなげます。

二点目は、「子どもが安心して学べる教育環境整備の推進」についてです。子どもたちが生まれ育った家庭環境に左右されずに、安心して教育を受けられるよう、経済的支援の充実、いじめの防止や不登校児童生徒への支援、児童虐待の未然防止の取組を進めます。